

6th Grand Canvas : AI品質の未来を共に描く ～AI品質マネジメントネットワークキングシンポジウム～

https://www.digiarc.aist.go.jp/event/6th_grand_canvas/

オープンコミュニティで進める品質とガバナンス

2025年 9月 17日

日本IBM エコシステムテクニカルリーダーシップ

平山 毅 HIRATSU@jp.ibm.com



6th Grand Canvas : AI品質の未来を共に描く ～ AI品質マネジメントネットワーキングシンポジウム ～

開催日時: 2025年9月17日(水) 13:00-17:30

開催場所: AP日本橋 6F Room G

開催形式: ハイブリッド形式(会場参加/オンライン参加)

参加費: 無料

主催: 国立研究開発法人産業技術総合研究所

共催: 国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)

一般社団法人 AIガバナンス協会

後援: AIセーフティ・インスティテュート(AISI)

東洋大学総合情報学部

https://www.digiarc.aist.go.jp/event/6th_grand_canvas/



16:00–17:25

一般募集した企業登壇者によるショートトークセッション

- ファシリテータ：妹尾 義樹 (国立研究開発法人産業技術総合研究所)
- コメンテータ：杉山 阿聖 氏 (Citadel AI)
- 築地 テレサ 氏 (SherLOCK)
- 小川 隆一 氏 (IPA)
- 福住 伸一 氏 (国立研究開発法人理化学研究所 革新知能統合研究センター)
- 天野 悠 氏 (アクティヴァーチ・コンサルティング)
- 平山 毅 氏 (日本IBM)
- 関根 聡 氏 (情報学研究所 大規模言語モデル研究開発センター)

自己紹介



日本IBM株式会社 テクノロジー事業本部 エコシステム共創本部
エコシステムテクニカルリーダーシップ 平山 毅

<https://www.linkedin.com/in/tsuyoshihirayama/>

テクノロジー事業本部エコシステム共創本部でエコシステムテクニカルリーダーシップを担当。

IBMでは、クラウド事業、Red Hat アライアンス事業、Data AI事業、クライアントエンジニアリング事業金融部門、直近まではエコシステムエンジニアリングの日本での立ち上げをリード。それ以前は、アマゾンウェブサービスでソリューションアーキテクト、プロフェッショナルコンサルタント、野村総合研究所でファイナンシャルエンジニア、

東京証券取引所でITサービスのマネージャー、経営企画、ITアーキテクト、金融派生商品の開発者。

Linux Foundationの日本チャプターのリード、情報処理学会デジタルプラクティス編集委員、総務省Beyond 5G新経営事務局委員、（官民学連携）。左記の通り。技術書籍を8冊出版。

国際学会、国際カンファレンスなど登壇多数。金融やITの認定資格多数保有。

神奈川大学、早稲田大学大学院、事業構想大学院大学、東京都立産業技術大学院大学で講義も担当。

東京都立日比谷高等学校卒業、東京理科大学理工学部卒業、

早稲田大学大学院経営管理研究科MBAファイナンス修了。

北陸先端科学技術大学院大学、長岡技術科学大学の博士課程在学。

NEDO AI品質マネジメント講座5期生。Beyond 5G新経営戦略センター リーダーズフォーラム4期生。

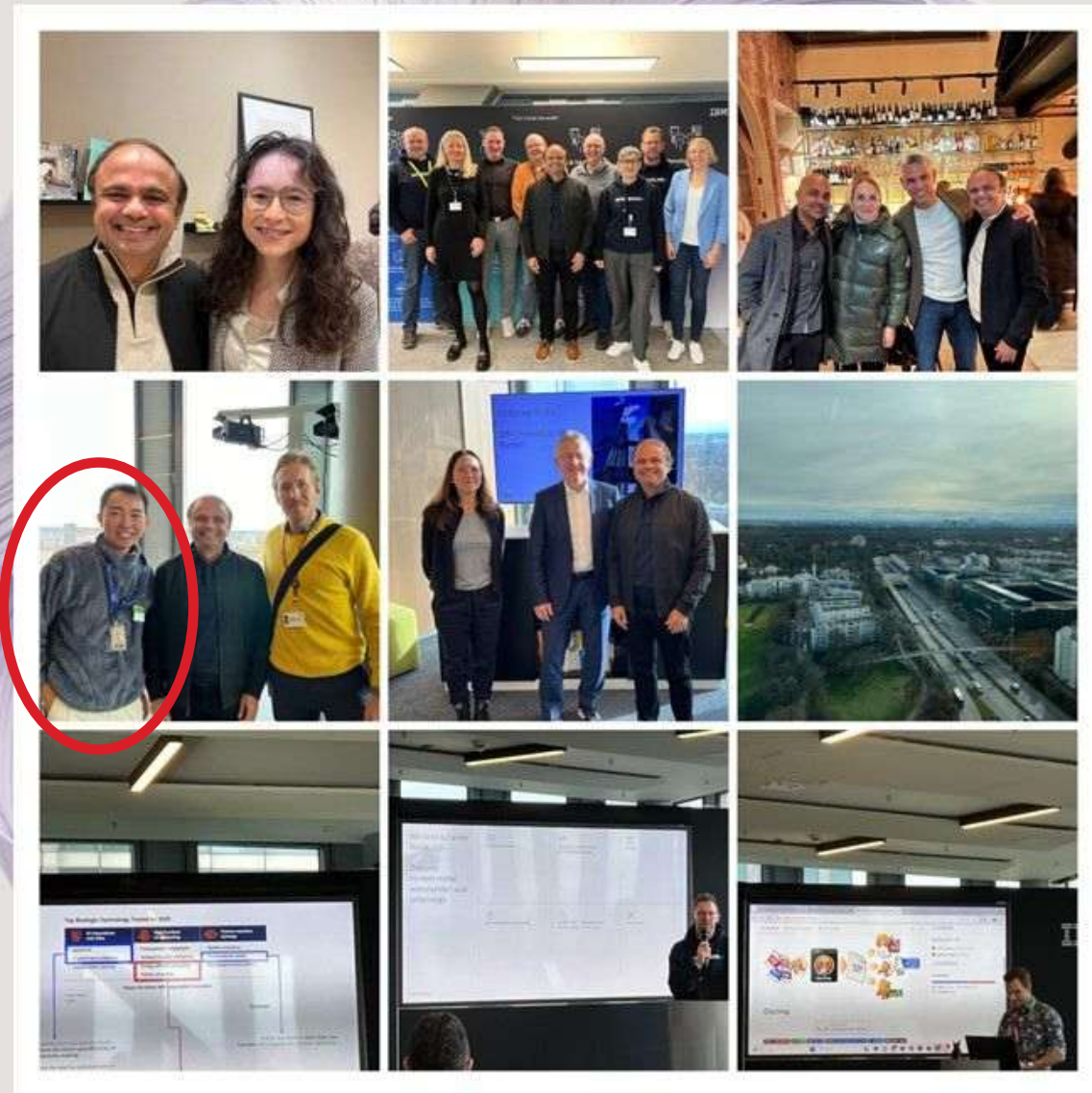


watsonx Build Partner insights from Amsterdam & Munich

~

- * Specialized Models
- * Holistic Governance
- * Enterprise-scale RAG

https://www.linkedin.com/posts/omkar-nimbalkar-741b423_watsonx-ai-automotive-activity-7266461148374347777-7Xf1?utm_source=share&utm_medium=member_desktop



IBM

サマリ

- ・ IBMは「機械学習品質マネジメントガイドライン」に沿ってプロジェクトでのAIの開発運用を行っています。
- ・ IBMは製品として品質やリスクに対応した生成AI watsonxを提供しています。
- ・ IBMは生成AIのLLMやチューニング機能をオープンソース化し、Linux FoundationやThe AI Allianceなどで、オープンコミュニティにて、品質やガバナンスをリードしています。

機械学習品質マネジメントガイドライン

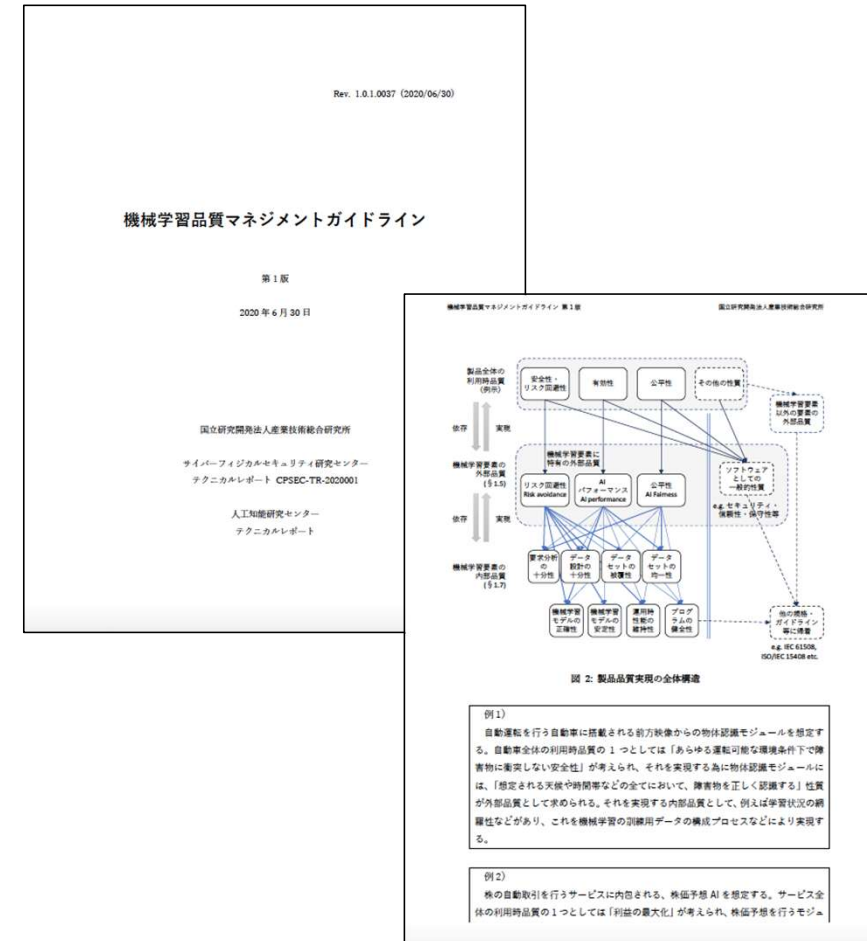
2020年6月に第1版リリースの発表

国立研究開発法人産業技術総合研究所(産総研・AIST)
サイバーフィジカルセキュリティ研究センター
人工知能研究センター

- 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)からの受託事業の一部
- 産総研・AISTと大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立情報学研究所(NII)が企業・大学等の有識者委員とともに構成した「機械学習品質マネジメント検討委員会」においてとりまとめ
- 全125ページのPDFファイルとして公開

ガイドラインでは、AIシステムの品質を見る切り口として、以下の3つを定義しています

- 安全性・リスク回避性
- 有用性・AIパフォーマンス
- 公平性



IBMのAI倫理への取り組み

IBMのAI原則

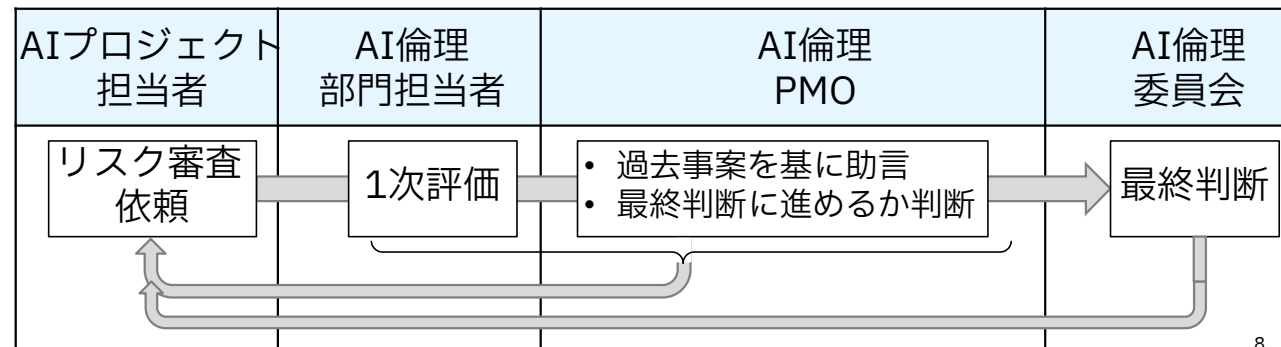
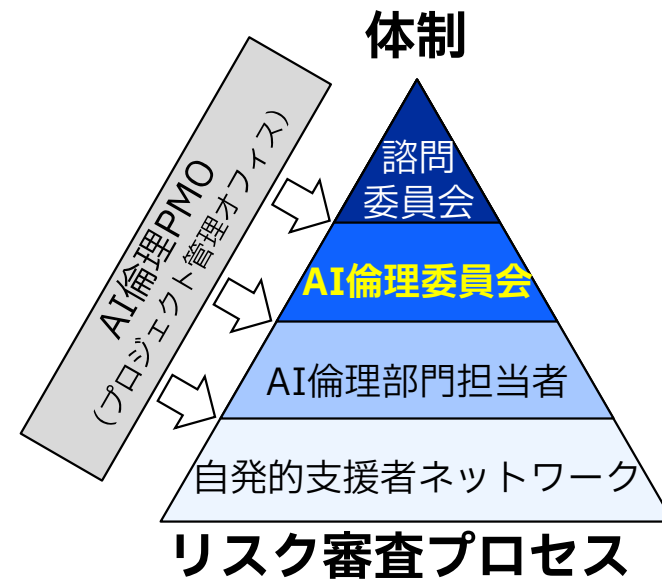
信頼と透明性の原則

- **AIの目的**
人間のインテリジェンスを高めること
- **データと洞察の所有権**
データと洞察はそれを生み出した企業に帰属
- **透明性と説明可能性**
AIシステムをはじめとする新しいテクノロジーは、透明性があり説明可能でなければならない

原則を支える基本特性

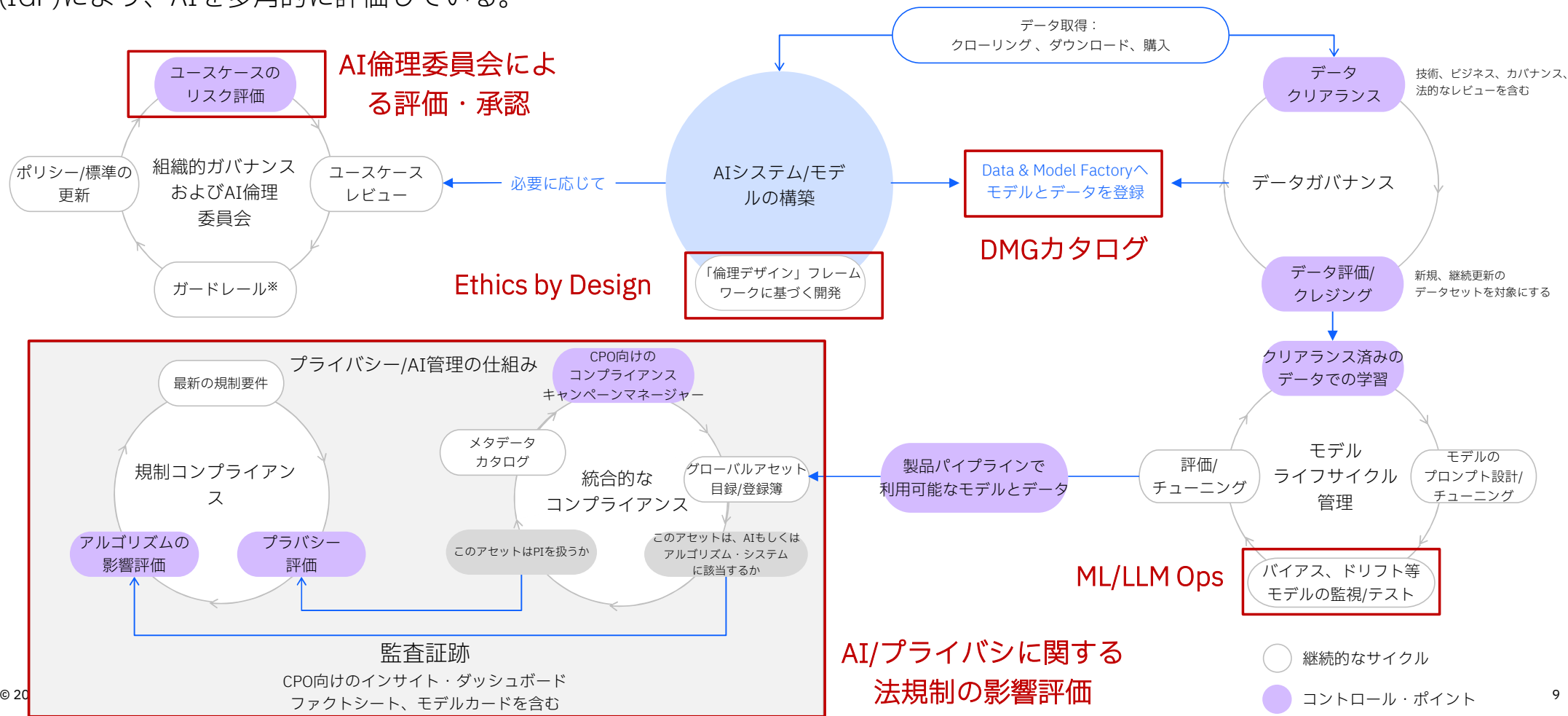
- **説明可能性**
- **公平性**
- **堅牢性**
- **透明性**
- **プライバシー**

AIガバナンス体制・プロセス

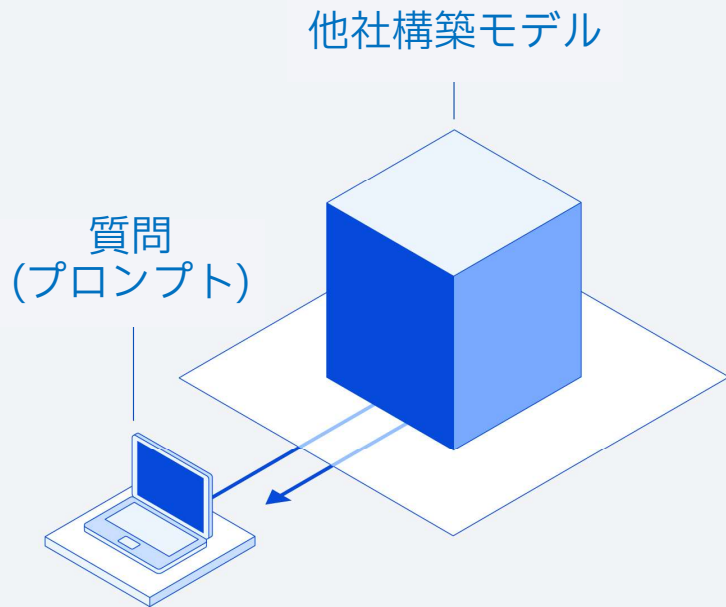


IBM自身のAIガバナンス

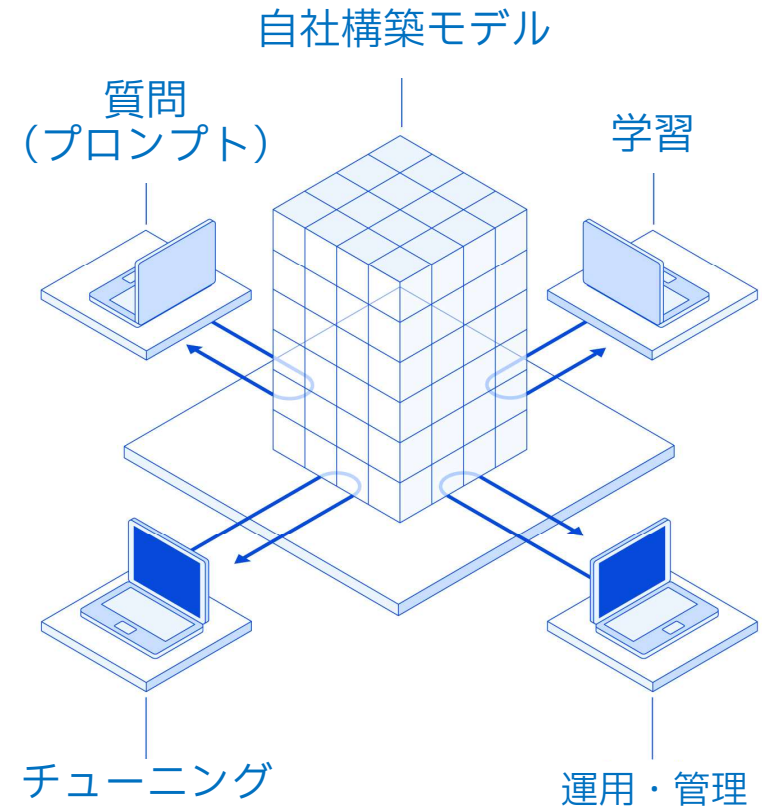
AIガバナンスの運用モデルを実際に回し、AIリスクに対応。各国の法規制にも対応する統合評価プロセス (IGP)により、AIを多角的に評価している。



提供されたAIの利用 (AI利用者) gpt など

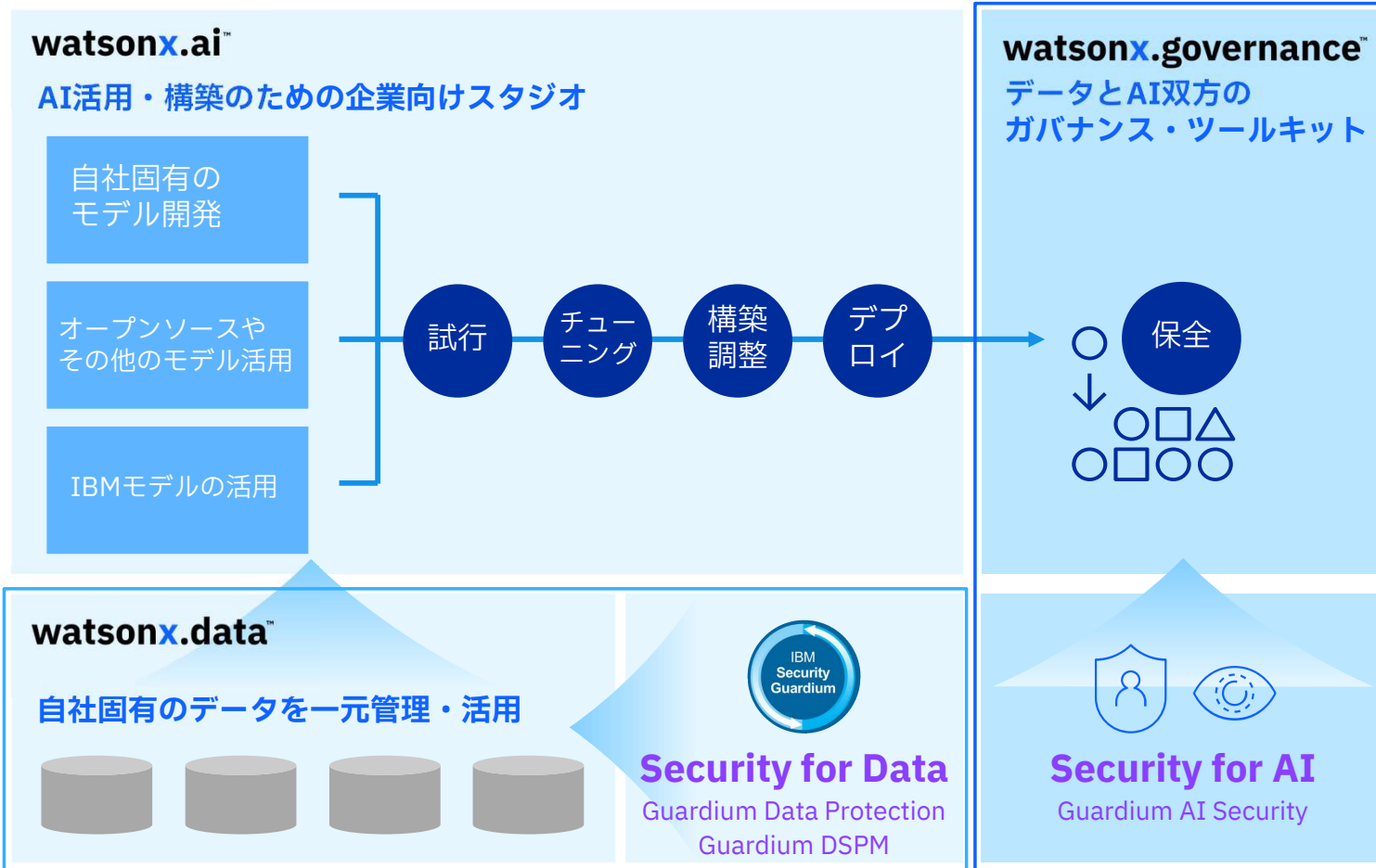


独自のAI構築による価値の提供 (AI価値創造者) IBMの目指すところ



IBM watsonx

基盤モデルをはじめとしたAIモデルを活用・構築し、企業独自の価値創造を支援する。



watsonx.ai

企業独自の**競争力と差別化**を保持するために、基盤モデルをはじめ様々なAIモデルを活用・構築することができる

watsonx.data

AIを**ビジネスのあらゆる領域**で活用するために、企業の散在するデータを一元管理し、さらに活用できるよう加工する仕組みを提供する

watsonx.governance

信頼できるAIの構築を支援する、データとAI双方のガバナンスを包含したツールキット。
責任ある、透明性・説明可能性を確保したAIのワークフローを実現する

The AI Alliance の主要テーマのうちの信頼性

<https://thealliance.ai/>

Skills & Education



Supporting global AI skill-building, education, and exploratory research.

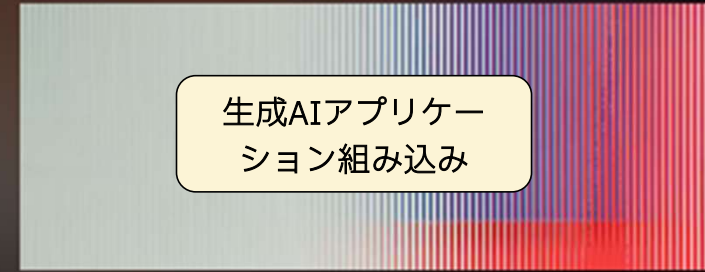
Trust & Safety



信頼性と
セキュリティ

Creating benchmarks, tools, and methodologies to evaluate and ensure safe, trusted generative AI.

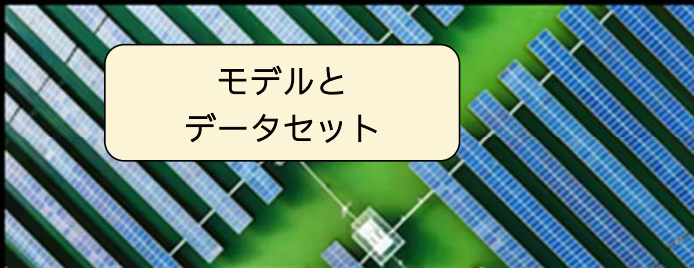
Applications and Tools



生成AIアプリケーション
組み込み

Building the most capable tools for AI model builders and GenAI application developers.

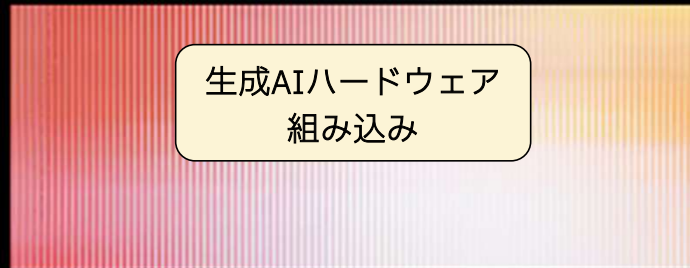
Hardware Enablement



モデルと
データセット

Fostering a vibrant AI hardware accelerator ecosystem through enabling software technology.

Foundation Models and Datasets



生成AIハードウェア
組み込み

Enabling an ecosystem of open foundation models, including those with multilingual, multi-modal, science, and time series capabilities. Similarly, promote the development of datasets in these areas.

Advocacy



Supporting regulatory policies that create healthy, sustainable, and open ecosystems for AI.

AI Alliance Japan

Building and advancing open source AI for Japan and everyone

Sovereign AI

ソブリンAI

Japan-specific context for AI agents, data, models and evaluation

Industrial AI

Open-source AI research and development for manufacturing, semiconductors, shipping and navigation, where reliable, accurate, domain-enriched systems are essential

Let's Collaborate AI Project with IBM
Let's Try watsonx
Let's Join "The AI Alliance" OSS community

